

はじめに

人口減少・超高齢社会の到来や急速な経済のグローバル化等により、環境・経済・社会の課題が密接な関わりを持つ中で、地球規模の環境問題に対応するため、「持続可能な開発目標（SDGs）」や「パリ協定」の採択などの国際的合意が立て続けになされております。

環境問題が深刻さを増す中で、私たちには、大気や水の汚染、廃棄物対策といった地域における環境保全の取組への対応とともに、地球温暖化対策や気候変動への適応といった地球規模での取組にこれまで以上積極的に取り組むことが求められています。



環境を巡る問題は、県民一人ひとりの日々の暮らしや社会における様々な分野の活動に大きく影響する問題です。地域資源を持続可能な形で最大限活用しながら、自然豊かで美しい栃木県を、「環境負荷が少なく、人と自然が共生する社会」として、県を挙げて守り、育てていく必要があります。

このため、本県では、平成28（2016）年3月に、「栃木県環境基本計画」を策定し、環境の現状や社会情勢を踏まえた環境課題への適切な対応や、環境の保全と利活用を目指し、「県民一人ひとりが夢や希望を持てる地域社会」を形成することを目標として、県民の皆様をはじめ、企業や団体、行政が連携・協働しながら各種施策を積極的に展開しています。

この「栃木県環境白書」は、本県の環境の状況や平成29（2017）年度に県が実施した環境保全に関する施策等についてまとめたものです。本書が、県民の皆様の環境問題への理解を深めるとともに、環境基本計画で掲げた将来像、「守り、育て、活かす、環境立県とちぎ」の実現に向けた「行動」の一助となれば幸いです。

平成30（2018）年9月

栃木県知事

福田 富一